

## R Cカーの京商、同業の玩具事業を取得

2018/12/27 11:00 | 日本経済新聞 電子版

ラジオコントロールカー（R Cカー）が主力の老舗玩具メーカー、京商（神奈川県厚木市）は2019年2月、同業のトイ・ステート・ジャパン（T S J、東京・台東）からR Cカー事業を取得する。京商は高機能の無線操縦の玩具に強みを持つが、T S Jが手掛ける初心者でも楽しめるR Cカーに事業領域を広げる。国内のほか市場が成長する中国にも進出する。

取得額は公表していないが数千万円程度とみられる。T S Jは無線操縦のコントローラーを使って遊ぶヒット商品「空とぶドラえもん」やR Cカーなど5千円程度の商品が中心だ。

京商はR Cカーの世界大会にも使う価格帯が1万～6万円程度の玩具の企画・開発を手掛けており、この分野の世界シェアは2割前後を占める。T S Jの商品を加えることでR Cカーの顧客層を広げ、高機能モデルの拡販につなげる。

京商は18年4月、経営難から[新生銀行](#)グループの投資会社、新生企業投資（東京・中央）やコンサルティングを手掛けるゴードン・ブラザーズ・ジャパン（東京・千代田）が支援し再建を進めている。T S Jの事業取得を足がかりに現在30億円の売上高を、3年後に50億円に引き上げる計画だ。



京商は初心者でも楽しめるR Cカーの商品領域を広げる

許諾番号30067020日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.